

# 家庭ごみの有料化をやめさせる

## 一致点での共同を呼びかけます

大分市はこの度、家庭ごみの収集有料化を導入する方針を明らかにしています。この有料化をめぐる様々な意見があると思います。

大分市が有料化を進める理由としては、①ごみの減量化を進めるため、②ごみを多く出す人と少なく出す人の間の公平性の確保という2点をあげています。しかし、①については先行実施した自治体でのデータから減量化が期待できるとされているもの、それらは先行自治体での分別・リサイクルの推進が寄与している部分もあつて、有料化による減量効果は定かではありません。また、いくら減量化が進んだ場合も、数年で再びごみ排出が増加するリバウンド現象もしばしば見られます。②は、ごみの量だけで公平性を論じていますが、税の負担は、所得に応じて負担するのが公平であり、ごみの有料化は高額所得者も生活困窮世帯にも強制的に取り立てる最大の不公平ではないでしょうか。また家族構成の違いなど、質的な不公平には目をつぶっています。

こうしてみると、大分市が主張する理由は有料化の推進を正当化するに十分とは言えません。横浜市や名古屋市をはじめ、有料化をしなくとも分別・リサイクルの徹底だけで十分に減量化を達成している自治体も少なくありません。

家庭ごみの処理は、憲法や地方自治法の趣旨に基づき、市民が納めた税でまかなうという地方自治体固有の事務です。しかも、低所得者への配慮を欠いた「税の二重取り」という批判があるのも当然です。また多くの疑問に答えないまま、十分な住民説明もせずに進めようとしている点で、さらには事業系ごみや一時的多量ごみなど、通常の家庭ごみ以外のごみ収集料金の便乗値上げと、なし崩し的に連動させられている点で、手続き的にも問題があると考えます。

私たちの会は、家庭ごみ収集有料化をやめさせるという一点で一致して、有料化方針を撤回させることを目的とするものです。有料化に反対する理由は何でも構いません。大分市が市民協働のまちづくりをうたっているならば、きちんと市民の声を聞きながら方針を進めるのが本来の姿であるはずです。今のような有料化の進め方は、市民の協力と自発的参加によってごみ減量を進めるというごみ対策の本来のあり方に逆行するものです。

家庭ごみ有料化に疑問を持たれているすべての皆さん、ぜひ、私どもの会に入会されて、有料化を撤回させる取り組みとともに進めましょう。

二〇一三年十月十三日

家庭ごみの有料化をやめさせる会